

(様式3)

## 令和5年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	小俣児童館・小俣放課後児童クラブ	所在地	伊勢市小俣町元町662-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	児童館事業: 児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し情操を豊かにするため 放課後児童クラブ事業: 就労等により昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図るため		
業務内容	・職員の雇用に関する事 ・伊勢市小俣児童館の事業に関する事 ・伊勢市小俣放課後児童クラブの事業に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事(清掃業務、警備業務、施設等修繕業務 等) ・伊勢市小俣放課後児童クラブ第2及び第3の業務委託を別途受託できる事 ・その他業務に関する事(危機管理及び個人情報保護、守秘義務、情報公開 等)		
施設概要	平成3年4月完成 敷地面積419㎡、建築面積157.74㎡、延べ床面積257.72㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 定員70名		
職員体制	館長 兼 放課後児童支援員	1名	
	児童の遊びを指導する者 兼 放課後児童支援員	14名	
	補助員	12名	
施設所管課名	子育て応援課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	20,123,000	22,119,700	20,885,377	△ 1,234,323
	利用料金	4,018,100	3,874,100	4,202,300	328,200
	その他	3,753,006	1,985,576	466,246	△ 1,519,330
	計(a)	27,894,106	27,979,376	25,553,923	△ 2,425,453
	支出				
	人件費	16,842,659	15,745,433	12,890,787	△ 2,854,646
	管理運営費	4,643,429	5,875,634	5,542,708	△ 332,926
	その他	1,028,918	1,068,210	6,949,042	5,880,832
	計(b)	22,515,006	22,689,277	25,382,537	2,693,260
収支差引額(a)-(b)		5,379,100	5,290,099	171,386	△ 5,118,713

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	障がい児の受入減により、指定管理料(障がい加配)が減となった。 後半に利用者が減少となり、人件費等も減となった。 小俣放課後児童クラブ第2、総務、庶務、地域福祉等への繰り入れが増えたため、その他支出が増となった。
----------------------------------	--

### 3 評価（様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
<p>事業計画書に従った管理を行った。</p> <p>『こどもの居場所』として機能するため、児童館として、各種教室やイベントを企画した。令和5年5月より『新型コロナウイルス感染症』が5類となり、通常の生活が戻ってきたことにより、ほぼコロナ前と同様なイベントが開催された。また、学級閉鎖があったり、児童館玄関前の工事のため1ヵ月ほど休館となったものの、令和4年度と比較して利用者数も増となった。</p> <p>6年生の児童に児童館工事による休館を告げると、「おれの居場所なくなるやん！どこに行ったらいいんや！」と言っていた。子ども達にとって『居場所』となっていることを再確認した。</p> <p>児童館の行事としては、新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、毎月の各種教室、おはなし会、ドッジボール大会等を通常通り開催し、満足度向上のため前向きに取り組んだ。</p> <p>『児童館まつり』は2部制にし、たくさんのボランティアの協力の下で開催した結果、令和4年度より参加人数も増え、子ども達や保護者からの期待度を感じた。また同日に、防災体験として、三重県から『地震体験車』を派遣していただき、震度6を体験し地震の怖さを改めて知り得る体験となった。『防災を考える機会』となることを期待したい。</p> <p>『ハロウィンイベント』も近隣住民のお宅を一軒一軒回って、コロナ前のようなイベントが開催できた。小学校の体育館をスタートして、地域の皆さんのご協力の下、まるでディズニーの絵本から飛び出したかのようなプリンセスや、可愛いゴースト等の仮装衣装を着た大勢の子ども達が児童館周辺を歩き回った。参加児童、保護者、地域住民、ボランティアの笑顔溢れるイベントであった。</p> <p>児童館まつり、ハロウィンとも明野高校生徒をはじめ、皇學館大学学生の皆さん、民生委員・児童委員の皆さん、地域や企業、保護者ボランティアの皆さんのご協力の下で開催することができた。</p> <p>ボランティアによる陶芸教室は、地域の高齢の方達の指導の下で作品を制作し交流することができた。ボランティアによる茶道教室は、お茶の点て方や礼儀作法等を学ぶことができた。</p> <p>夏恒例の『きもだめし大会』も皇學館大学学生の皆さんのご協力により開催することができた。4部制にし、混雑を緩和したが希望者が多く、夜の児童館で「おもしろかった！」と笑い声や「こわかった」と大泣きする幼児の声など、大勢の子ども達、または親子で楽しんでいただいた。</p> <p>星空観察会を9月の夜間に開催した。小学校校庭にて天体望遠鏡で、土星の輪、木星の模様、月のクレーター等を観察した。秋は空気が澄み、魅惑的な夜空を親子で魅了されていた。</p>	<p>施設の管理については適正に行われていた。</p> <p>工作・陶芸などの教室活動をはじめ、各種大会、世代間交流、野外活動等、行事を創意工夫し、乳幼児から高校生まで幅広い世代の子供達が楽しめるイベントを催し、利用者や保護者から好評を得ていることは評価できる。</p> <p>また、満足度調査からみえてくる各種行事に対する利用者のニーズにも応えるべく事業を行い、伝統的な行事も大切にしながら、地域と一体となって取り組みを行い、さらに新しい行事も積極的に展開し、地域・大学生ボランティアと連携して事業を成功させていることは大きく評価できる。特に今年度より開催した児童館食堂はとても好評であり、年間通しての利用児童数の増加にも寄与したと考えられる。</p> <p>「児童館まつり」・「地震体験車」・「ハロウィンイベント」などの行事や児童館食堂やボランティアによる陶芸教室や茶道教室など、事業を成功させていることは大きく評価できる。</p> <p>安全管理についての意識も高く、児童の入退出がわかるシステムにより保護者もクラブも安心して過ごすことができている。引き続き防災・防犯に備えた訓練や安全管理の徹底に努められたい。</p> <p>また、市へのホウ・レン・ソウも逐一あり、現場の意向をすぐに把握できる体制にあることは評価したい。</p> <p>今後も様々な取り組みを継続していただき、利用者のニーズに沿ったサービスが提供できるよう期待したい。</p>

みえこどもの城の移動児童館による工作教室も2回開催し、楽しい工作に熱心に取り組む子ども達であった。

こども達の孤食化防止、居場所づくりを目的に、地元企業のぎゅーとら様、民生委員・児童委員、明野高校生ボランティア、地域住民ボランティア等のご協力の下で開催した『おばた児童館食堂』は、毎月美味しいカレーライスを提供した。こどもだけでなく、保護者や家族、地域の高齢者も利用して「こどもやないけどええんかな」と言いながらお越しいただき大変喜ばれた。カレーライスを食べた後、こども達は明野高校生のお兄さんお姉さんに遊んでいただき、とても喜んでいった。

皇學館大学よさこい部ボランティアのご指導の下で、活動している『小俣児童館クラブ★よさこい』は、3つの地域イベントからの出演依頼を受けた。『おばたまつり』では、児童とよさこい部大学生のコラボレーションで見方々を魅了した。『小俣芸能発表会』『小俣ふれあいフェスタ』では、こども達のみで出演し練習の成果を遺憾なく発揮した。見事な演舞に、保護者だけでなく、主催者、鑑賞された皆さんにも大変喜ばれ、『地域の児童館』を噛み締めることができた。

幼児親子から小学生を対象にした『リトミック教室』や『キッズダンス教室』を開催し親子ともに楽しんでいただけた。特に、キッズダンスは、こども達から事前に『リクエスト』を聞き、流行っている曲を取り入れたところ、こども達は瞬時にダンスを覚え完璧に踊り大盛り上がりであった。

毎月1回夕方に開催している『中高生タイム』は高校生の利用はないものの、中学生が遊びや勉強をしに来館し、中学生の居場所となってきた。同日昼に開催の『おばた児童館食堂』で作ったカレーライスを、中高生タイム中に食し「児童館のカレーはうまい！」と喜んで、おかわりをする姿は頼もしい。

放課後児童クラブとして、毎月の誕生会、12月実施のクリスマス会、3月実施のお別れ会等は、参加したクラブ利用児童、保護者共に喜んでいただいた。

毎月開催している、ボランティアの先生協力によるクラブ習字教室や、毎月2回開催のクラブ塾において、こども達のやる気を育てていくことを念頭に置きながら実施した。

働く保護者の負担軽減を考え、夏休み・冬休み・春休みに『らくらくランチサービス』と称し、クラブ利用の希望者にワンコイン500円で日替わり弁当を提供して、保護者、児童共に大変喜ばれた。特に保護者からは、「忙しい時に弁当を作らなくても良いので助かります」との声をいただいた。

平日に児童クラブへ来館したときに『ただいまメール』を、出席児童の保護者や家族に毎回発信している。こども達が事件に巻き込まれたニュースが連日放送されているため「メールが届いて、こどもが児童クラブに到着したことが確実にわかるため安心できる」と保護者から好評を得ている。

外部の習い事へ行く時にも『ただいまメール』を発信している。クラブ利用児童が習い事へ行ったことや無事帰ってきたことが、メールを通じて保護者にわかる仕組みとなっている。

放課後児童クラブにおいて、児童館玄関前の工事時には、第2と第3に分散しながらも、クラブを維持し働く保護者に寄り添った。また、学級閉鎖の時は、小学校、保護者と連絡調整を行い適切に対応した。

年間を通し、身の安全を守る対処の方法、防災、防犯の意識を向上させるため、児童館、放課後児童クラブともに災害や防犯に備えた避難訓練を月1回実施した。不審者対策で、力の弱い職員でも確実に扱える防犯設備の導入を、児童館、第2、第3の3カ所で実施した。

職員の資質の向上のため、研修会に業務として参加した。個人でも積極的に自己研鑽に励んだ。

今後も児童、保護者、地域のニーズに沿った事業等を開催していきたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。	
	②施設設置目的の達成度	A	児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにする施設として、円滑な運営を行った。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。	
	③利用者数	A	令和4年度の児童館の利用者が3,734人であったのに対し、令和5年度は5,093人であり、1,359人の増となった。前年度と比較して『利用者増』を目標としてきたため、目標は達成されたと思われる。	A	利用者の確保に努め、十分な受け入れを行っている。	
	④運営状況	A	令和4年度の児童館開館日数は293日。令和5年度は274日で、学級閉鎖と玄関前の工事のため1か月休館したことにより、比較して20日ほど減である。児童館開館時間は11時～18時。児童クラブ開館日は293日であり、就労している保護者に寄り添い、4月1日から学校休校日においても開館し長時間保育を行った。放課後児童クラブ開館時間は放課後～18時。土曜、長期休業日8時～18時まで開館した。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。また、学級閉鎖時や工事期間中については保護者への対応を的確に行い、臨時休館にするなど、適切な運営がなされた。	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	事務分担票を設定し、適正な配置・勤務を行った。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制は明確になっていた。	
	⑥意思疎通	A	随時子育て応援課と連絡を取り、連絡調整を行った。また、月報および配布物等を市へ提出し、業務全体が把握できるよう対応した。	A	報告・連絡・相談等、速やかに連絡を行い、意思疎通を図っていた。	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	毎日の業務日誌、報告書に各種記録を記入し、決裁後保管を適正に行った。	A

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
施設設置目的の達成	⑧地域の振興	A	『児童館まつり』『ハロウィンイベント』『きもだめし大会』等を開催した。いずれも、予想を上回る参加希望者があった。コロナウイルス感染症が5類になったことにより、コロナ前に近い状態に戻ってきた。幼児から大人までの方々が溢れる笑顔で参加していただいた。『ハロウィンイベント』は児童館周辺を仮装しながら歩き、地域のお宅を1軒1軒お邪魔し、地域住民もイベントに参加しながら、こども達を見守っていただいた。あたくも、ディズニーの絵本から抜け出したようなプリンセスや、可愛いゴースト等多くのこども達で溢れていた。毎月1回開催の『児童館食堂』は、こどもの孤食化防止等『地域の居場所』として、皆さんにカレーライスを無料で提供し喜ばれた。テイクアウトを取り入れながら、児童館の工事中以外11回開催した。こどもだけで無く、保護者や家族、地域の高齢者も利用して、「こどもやないけどええんかな」と言いながらお越しいただき大変喜ばれた。令和5年度から、地元の企業から食材の寄付を毎月頂き、地域ぐるみでこども達を見守っていただける基盤ができてきたことを感じた。皇學館大学の学生に指導していただいている『クラブ☆よさこい』は、3つの地域イベントから出演依頼を受けた。『おばたまつり』はこどもとよさこい部大学生とのコラボレーションで、『小俣芸能発表会』『小俣ふれあいフェスタ』はこども達だけで、見事に演舞できた。保護者だけでなく主催者、鑑賞された方からも大変喜ばれ、来年の依頼を受けるほどであった。地域住民、明野高校、皇學館大学、民生委員・児童委員、地元企業、ボランティアの方々にご協力いただきながら数々の行事を開催できたことは、良好な関係が築かれているからだと思われる。	A	地域ボランティアや大学生、地域住民との交流や連携を積極的に図り、また今年度より開催した児童館食堂についても好評であり、地域の振興を図っていた。		
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請は適切に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。		
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われていたか。	A	代金回収サービスを活用し、利用者に負担のかからない方法で行えた。医療費受給者資格がある保護者には減免をおこない、帳簿を作成し適正に行うことができた。	A	帳簿は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	パソコン等の保管方法や名簿等の個人情報の取扱いは慎重に行うため施錠できる引き出しへ保管した。また、ブログ等に写真を掲載する際にも注意書きをし、配慮している。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	地方自治法、児童福祉法や児童館ガイドライン等各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 小俣児童館			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	『児童館まつり』『ハロウィンイベント』『きもだめし大会』等のイベントを環境を整うた上で開催したことにより、利用者増につながったと考える。『児童館食堂』も11回開催できた。こども達や地域の方々に喜んでいただきたいとの思いから、イベントを前向きに、また、工夫を重ね開催し続ける努力を継続した。	A	季節にちなんだ取り組みや新しいイベントの取り組みについて、施設周辺地域にも協力を仰ぎながら地域住民にも周知に努め、利用者の増加につながった。
	②利用者の平等な利用	B	サービスの水準を確保するため、業務日誌や連絡ノートでの情報の共有を図ったり、月1回のミーティング等や随時職員間で話し合ったり、研修に参加したり、適切な対応ができるよう努めた。新規職員も多数あり、できる限り常勤職員と非常勤職員との対応に差が生じないように、情報の共有に努め、利用者にとって一定のサービスの水準を確保するよう努力した。	A	サービス水準については、常に利用者目線に立ち、さまざまな企画を上げ、実施した。
	③適切な情報提供	A	児童館だよりや児童クラブだよりを始め、マメールでの情報提供、チラシやホームページを利用した情報提供を行った。また、放課後児童クラブ役員には、情報をいち早く提供し、相談しながら児童の育成に努めた。	A	掲示物やチラシなどの作成の際、見易さ・分かりやすさも視点に入れ、効果的な情報提供をしている。
	④非常時・緊急時の対応	A	社協職員用の緊急時のマニュアルを常備し緊急時に備えるようにし、児童には火災、地震、防犯等毎月テーマを決めた避難訓練を毎月実施して意識付けを行った。	A	毎月テーマを決めて実施し、緊急時の確認をとっている。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情に対しては、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。事故に関しては、『児童安全共済』『児童クラブ共済』を利用し、丁寧に説明し対応している。また、再発防止策や予防策を立て、安全確保に努めている。その結果児童館、児童クラブ共に0件であった。	A	適切な対応ができる体制ができている。また、事故発生時も保護者、市へ遅滞なく報告・対応しており、適切であった。

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	⑥自主事業	A	毎年満足度調査を実施し、利用者のニーズの把握に心がけた。『児童館まつり』『ハロウィンイベント』『きもだめし大会』等イベントを開催したが、予想を上回る参加希望者があり、ニーズに即した事業のいくつかが開催できたと考える。『児童館食堂』は、子どもたちの孤食化防止等、地域の居場所を目標に開催した。各種事業において、地元企業、地域の高校、大学や民生委員・児童委員、ボランティア等のご協力の下開催できた事業であり、『地域の中での児童館』を改めて感じる事ができた。『児童館食堂』と同日に行っている『中高生タイム』も中学生がふら～っと来たり、勉強道具を持参して来たりする居場所となりつつある。災害対策では『地震体験車』を三重県から派遣していただき、震度6を体験した。防災を考える機会になってくれることを期待したい。放課後児童クラブの事業として『習字教室』や『クラブ塾』、働く保護者の負担軽減を考え『らくらくランチサービス』の、宅配弁当は大変好評である。安全を考えた『ただいまメール』も実施している。できる限りニーズに即した事業を心がけた。今後も利用者のニーズに耳を傾け事業を展開していきたい。	A	満足度調査により把握したニーズに基づき事業を計画・実施しており、利用者にも好評であった。また、今年度は新規に児童館食堂を実施しており、精力的に取組みをおこなった。
	⑦事業の評価	A	児童館まつりや各行事においては、事前ミーティング、反省会等、打ち合わせや確認見直し等も行っている。また、他の事業についても、事業報告書等を作成し次年度へつなげている。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、反省点等はすぐに確認し、改善を行っている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	安全チェックシートを用いて、毎月点検し、異常が発生した場合は速やかに対応した。また、月報や日誌にも記録している。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	異常があった場合は、速やかに対応を行ない、月報や日誌に記録をとった。また、速やかに伊勢市に報告を行った。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	児童や職員ともに毎日掃除を行っている。その他、年末の大掃除に加え、季節ごとに職員が掃除や除草を行った。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵は事務室に一括保管し管理している。館内にはセコムによる緊急通報装置を設置。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。不審者対策で、力の弱い職員でも扱える防犯設備の導入を、児童館、第2、第3の3カ所で実施している。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。